

加工用にんじんセミナー2018開催要領

1 趣 旨

北海道産にんじんは、近年、作付面積の変動が大きいものの、ここ1、2年は横ばい傾向にあり、その6割が加工・業務用に仕向けられている。加工・業務用にんじんは需要が根強く、輸入品利用の一方、国産での安定的な供給が求められており、加工専用品種による安定供給と出荷期間の長期化が重要となっている。

このような中、道総研は、平成27年～28年度において、加工業務に適した品種の特性を明らかにしてきたところであり、この成果を踏まえ、今後の北海道産にんじんの生産振興に資するため、品種開発、生産、実需サイドそれぞれから情報交換を行う「加工用にんじんセミナー2018」を開催する。

2 日 時 平成30年11月6日（火）13：00～17：00

3 場 所 花・野菜技術センター
滝川市東滝川735番地（電話0125-28-2211）

4 主 催 花・野菜技術センター

5 後援 北海道、ホクレン農業協同組合連合会

6 内 容

(1) 主催者挨拶

(2) 講演会

ア 加工用にんじんの品種特性について

道総研十勝農業試験場研究部地域技術グループ主査(畑作園芸) 田縁 勝洋

イ 育成元からの情報提供

・「カーソン」 ベジヨー・ジャパン(株)セールスマネージャー 奈良 政俊 氏

・「紅ぞろい」 ホクレン農業総合研究所長沼研究農場園芸作物開発課 本村 洋一 氏

(3) 圃場見学

(4) 事例報告・講演

ウ 加工業務用にんじんの産地事例報告

・士幌町農業協同組合農産部農産課農産係長 井尾 諭 氏

・美瑛町農業協同組合販売部生産振興課長 平間 尚貴 氏

エ 後志におけるにんじん生産性向上を目指した普及活動（仮題）

・後志農業改良普及センター 園芸担当

オ 加工業務用野菜をめぐる情勢報告

北海道農政部生産振興局農産振興課主査(野菜) 森 修治 氏

カ 実需から見た加工業務用にんじんに期待すること（仮題）

・(株)メディカル青果物研究所研究開発室副室長 服部 玄 氏

キ パネルディスカッション（加工用にんじんの出荷期拡大に向けた提言）

7 対象者 農業者、市町村、農業協同組合、北海道（農政部、総合振興局・振興局、農業改良普及センター）、農業試験場、等

8 参加費 無料

9 参加定員 会場の都合により、80名とさせていただきます。